

I 対馬の歴史に関して述べた次の文章を読んで、問1～問5に答えなさい。解答は、設問で指定された場合を除いて、すべて番号で解答用紙の〔解答欄A〕の所定の欄に記入しなさい。

九州と朝鮮半島のあいだに位置する対馬は、古くから、大陸と日本列島の社会を結びつける役割を果たしてきた。

鎌倉時代から室町時代にかけて力を伸ばし、対馬の支配者となった宗氏は、朝鮮王朝から貿易を許されるようになった。それゆえ、A 豊臣秀吉が朝鮮出兵をおこなった際には、朝鮮と豊臣政権のあいだで困難な立場に立たされることになった。豊臣政権に代わった江戸幕府は、日朝関係の修復をめざした。朝鮮との貿易から利益を得ていた宗氏も、日朝間の緊張緩和に尽力した。これ以降、宗氏を藩主とするB 対馬藩は「鎖国」体制下の日本で、対朝鮮外交・貿易を担う存在となった。

19世紀後半には、対馬は、C 日本・中国・朝鮮の関係のみならず、ヨーロッパを含む国際関係のなかでも焦点となった。1861年には、D ロシアの軍艦が対馬にあらわれ、兵士が上陸し、一部地域を占領した。イギリスはこれに抗議し、ロシア兵は退去した。両国にとっての対馬の戦略的重要性がこの事件の背景にあった。

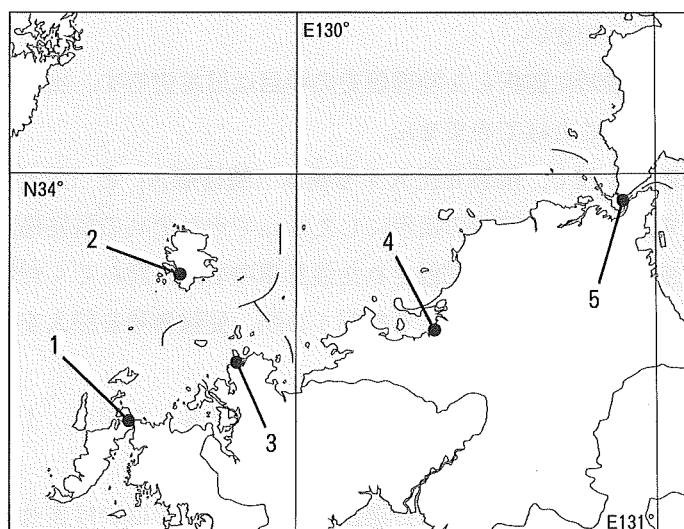
対馬藩は、対外関係や幕府とのやり取りなどに関する膨大な文書を作成した。それらの文書の一部は、E 日本の韓国併合後、朝鮮の歴史を編纂する事業で利用するために朝鮮半島に運ばれ、現在は大韓民国国史編纂委員会に所蔵されている。日本側に残った史料は、対馬の長崎県対馬歴史研究センターをはじめ、全国のいくつかの機関に分散して所蔵されており、慶應義塾大学もそのうち約1500点を所蔵している。

問1 下線部Aに関連して、以下の(1)、(2)に答えなさい。

(1) 豊臣政権期に起きた次の1～4の出来事を、年代の古い順に並び替え、その番号を左から記入しなさい。

1. 海賊停止令（海賊取締令）が出された。
2. 漢城が日本軍によって占領された。
3. 武家奉公人が町人や百姓になることが禁じられた。
4. 明皇帝の使節が豊臣秀吉と会見した。

(2) 豊臣秀吉が、朝鮮への出兵にあたり、本拠地とした場所の位置として、最も適切なものを、次の地図中の1～5の中から選びなさい。



備考：県境・海岸線は現在のもの。

問2 下線部Bに関連して、対馬は、江戸幕府の対外交渉・貿易の窓口の1つとして位置づけられた。対馬以外には、松前、長崎、薩摩がそうした窓口であったが、このうち松前藩とアイヌとの交易に関して、17～18世紀における交易の制度の変化について、〔解答欄B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい。

問3 下線部Cに関連して、次の資料a～cは、日本と中国・朝鮮の関係にかかわる条約または新聞論説の一部である（必要に応じて表現を改めた）。資料a～cのうち、条約が締結された時期、新聞論説が発表された時期を、下の年表中の空欄1～7の中からそれぞれ選びなさい。（重複使用不可）

a

今日の謀を為すに、我国は隣国の開明を待て共に<sup>あしあおこ</sup>亜細亜を興すの猶予あるべからず、むしろ其伍を脱して西洋の文明国と進退を共にし、その支那朝鮮に接するの法も隣国なるがゆえにとて特別の会釈に及ばず、<sup>まさ</sup>正に西洋人がこれに接するの風に從て処分すべきのみ。悪友を親しむ者は共に悪名を免かるべからず。我れは心において<sup>あしあ</sup>亜細亜東方の悪友を謝絶するものなり。

b

朝鮮国は自主の邦にして、日本国と平等の権を保有せり、<sup>しご</sup>嗣後兩國和親の実を表せんと欲するには、<sup>ひし</sup>彼此互に同等の礼儀を以て相接し、<sup>ごう しんまつさいけん</sup>毫も侵越猜嫌する事あるべからず（中略）  
朝鮮国政府は（中略）日本人民の往来通商するを<sup>じゅんちよう</sup>准聴すべし

c

日本暦七月二十三日、朝鮮暦六月九日の変は朝鮮の<sup>きよう と</sup>兇徒日本公使館を侵襲し、職員多く難に<sup>かか</sup>罹り、朝鮮国<sup>へい</sup>聘する所の日本陸軍教師亦<sup>またさんがい</sup>惨害せらる

（資料出所はいずれも省略する。）

1

日本政府が、対馬藩を通じて朝鮮に新政府成立を通知した。

2

日清修好条規が締結された。

3

江藤新平が佐賀で蜂起した。

4

大久保利通が暗殺された。

5

金玉均らがクーデタを起こした。

6

東学を奉じる全琫準らが蜂起した。

7

問4 下線部Dに関連して、19世紀後半における日本とロシアの国境の変化について、両国の間の2つの条約に触れつつ、〔解答欄B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい。

問5 下線部Eに関連して、韓国併合にいたる過程では、3次にわたって日韓協約が結ばれた。次の資料a～cは、それらの協約の条文の一部である（必要に応じて表現を改めた）。資料a～cが下の1～3の協約のどれに含まれるか、それぞれ選びなさい。

a

韓国政府の法令の制定および重要なる行政上の処分は <sup>あらかじめ</sup> 予め統監の承認を経ること

b

韓国政府は今後日本国政府の仲介に <sup>よ</sup>らずして国際的性質を有する何等の条約 <sup>もしく</sup> 若は約束をなさざることを約す

c

韓国政府は日本政府の推薦する日本人一名を財務顧問として韓国政府に <sup>ようへい</sup> 傭聘し、財務に関する事項は総てその意見を <sup>と</sup> 詢い施行すべし

〔資料出所〕『日本外交年表並主要文書』上巻

1. 第1次日韓協約
2. 第2次日韓協約
3. 第3次日韓協約

Ⅱ 近代日本の、議事機関・立法機関とその議事録に関して述べた次の文章を読んで、問6～問9に答えなさい。解答は、設問で指定された場合を除いて、すべて番号で解答用紙の〔解答欄A〕の所定の欄に記入しなさい。

明治政府は、その成立直後から、政府の基盤を固めることを目的とし、また官員の意見交換や情報の共有をはかるために、A さまざまな機関を設置した。こうした機関のなかには、その会議の内容が印刷・出版されたものもあった。しかし、当時の日本では、まだ速記術が定着していなかったため、それらの議事録は、議場での発言をそのまま記録したものではなく、参加者の発言の概要を文語体で記したものであった。

1890年、B 帝国議会が開会すると、議事の記録は速記術によって逐語的に記録されるようになり、そのC 議事速記録は、原則として『官報』号外として公刊されるようになった。

問6 下線部Aに関連して、次のa～cの事項は下の年表のどこに入るか。年表中の空欄1～6の中からそれぞれ選びなさい。（重複使用不可）

- a. 左院が設置された。
- b. 集議院が設置された。
- c. 枢密院が設置された。

1

政体書が公布された。

2

廃藩置県の詔が出された。

3

後藤象二郎らが民撰議院設立建白書を提出した。

4

開拓使が廃止された。

5

太政官制が廃止された。

6

問7 下線部Aに関連して、次の文章を読んで、以下の(1)、(2)に答えなさい。

明治維新後に設置された会議組織のなかに、各府県の地方官を集めて開催された地方官会議があった。この会議は、漸次立憲政体樹立の詔によって、元老院、 $\alpha$ 大審院とともに設立された。第1回の地方官会議は、1875年に開かれ、各府県の議会のあり方や、土木費をはじめとする費用負担の方法などが話し合われた。 $\beta$ 第2回は1878年に開かれ、地方制度の改革について議論した。第3回は1880年に開催され、第2回の会議をうけて制定された地方制度を手直しすることなどが話し合われた。

- (1) 下線部 $\alpha$ に関連して、大日本帝国憲法が制定された後、外国の皇族が日本国内で襲撃された事件をめぐり、政府と大審院長との対立が起きた。その対立と、大審院が下した判決について、〔解答欄B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい。
- (2) 下線部 $\beta$ に関連して、次の資料は、第2回地方官会議の議事の記録の一部である(必要に応じて表現を改めた)。ここでは、ある法令についての質疑応答がなされている。その法令の名称を、下の1～5の中から選びなさい。

平山靖彦<sup>いわ</sup>曰く「従前の区画を廃する」とある区画は、単に現今の大区小区の事を指すものなるや(中略)  
松田道之<sup>いわ</sup>曰く「従前の区画」とは大小区を指したるものにして、国・郡を指すに<sup>あら</sup>非ず

〔資料出所〕『地方官会議議事筆記』

1. 郡区町村編制法      2. 郡制      3. 市制・町村制      4. 地方税規則      5. 府県会規則

問8 下線部Bに関連して、次の文章を読んで、以下の(1)～(5)に答えなさい。

帝国議会は、衆議院と貴族院の両院から構成された。 $\alpha$ 衆議院議員は国民の選挙で選ばれたが、貴族院議員は、 $\beta$ 華族議員や、勅選議員などから構成されていた。両院の権限は対等であり、両院の同意がなければ、予算や法律を成立させることはできなかった。初期の帝国議会では政府と政党が激しく対立したが、政府は、積極的な経済政策をおこなうためには政党に歩み寄り、増税を含む予算案を衆議院で可決してもらう必要があった。このため政府は、しだいに政党との協力を模索するようになっていった。第2次( a )内閣と( ア )が接近し、内務大臣として板垣退助が入閣したのに続き、第2次( b )内閣と( イ )が提携し、大隈重信が外務大臣として入閣した。そして、第2次山県有朋内閣は、憲政党の支持を得て、地租の増税を実現した。第2次山県有朋内閣は政党と協調する一方で、軍部大臣現役武官制を導入した。 $\gamma$ この制度は、のちの政治に大きな影響を及ぼした。

- (1) 文章中の空欄( a )、( b )に入る人名(姓名)を、〔解答欄B〕の所定の欄に記入しなさい。
- (2) 文章中の空欄( ア )、( イ )に入る政党名を、〔解答欄B〕の所定の欄に記入しなさい。

(3) 下線部 $\alpha$ に関連して、次のa～cの出来事が起きた時期を、衆議院議員選挙法の内容にかかわる下の年表中の空欄1～5の中からそれぞれ選びなさい。(重複使用不可)

- a. 景山(福田)英子が大阪事件で逮捕された。
- b. 青鞥社が結成された。
- c. 婦人参政権獲得期成同盟会が設立された。

1

直接国税15円以上を納める25歳以上の男性に選挙権を与える選挙法が公布された。

2

選挙権の納税要件を、直接国税10円以上とする選挙法の改正が公布された。

3

選挙権の納税要件を、直接国税3円以上とする選挙法の改正が公布された。

4

選挙権の規定から納税の要件を撤廃する選挙法の改正が公布された。

5

(4) 下線部 $\beta$ に関連して、明治維新後に華族制度が導入されてから、内閣制度ができるまでの時期の華族制度の変化について、どのような資格の人に華族の地位が与えられたのかに触れつつ、〔解答欄B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい。

(5) 下線部 $\gamma$ に関連して、第2次西園寺公望内閣が総辞職するにいたった経緯を、軍部大臣現役武官制に触れつつ、〔解答欄B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい。

問9 下線部Cに関連して、次の資料は、帝国議会の議事速記録の一部である（必要に応じて表現を改めた）。これを読んで、以下の（１）、（２）に答えなさい。

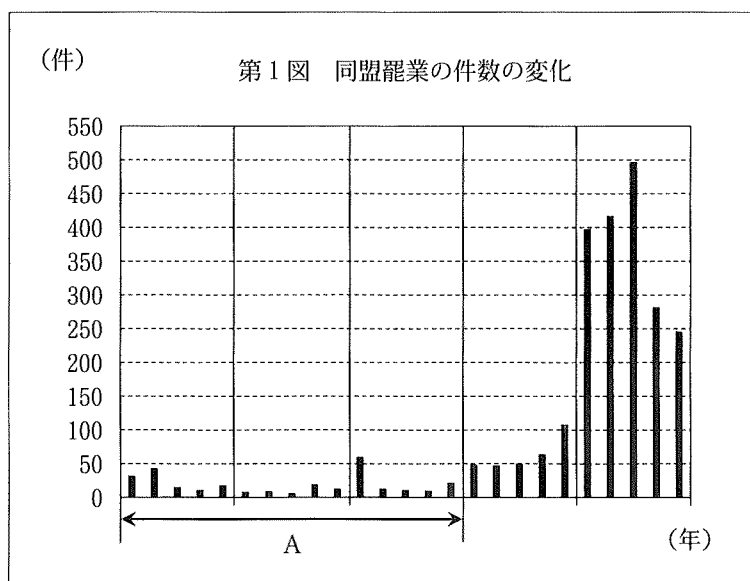
近來工業が発達致しまするに付きましては、雇主と労働者の間に随分確執を生じ易くなって居るのでございます。御承知の通、労働者の共同の組合即ち<sup>すなわ</sup>団結も、大阪或いは東京其外今日では九州の方にも起りかけて居ります（中略）御承知の如く、或鉄道会社の労働者が<sup>α</sup>同盟罷工を為したために、その鉄道は数日間運転を停止したのでございます。それがために公衆が幾許<sup>いくばく</sup>の損害を蒙り、幾許<sup>いくばく</sup>の迷惑をなすかと申すことは（中略）歎息に堪えない程の程度であったことでございます。

（資料出所は省略する。）

（１） この資料はある法律の案を審議している際の議事速記録の一部である。その法律の名称を、次の１～４の中から選びなさい。

1. 工場法      2. 集会条例      3. 治安警察法      4. 保安条例

- (2) 下線部  $\alpha$  に関連して、次の図は、19世紀後半から20世紀前半の、ある25年間における同盟罷業（ストライキ）件数の変化を示したものである。下の1～5はいずれも、この25年間に起きた出来事である。グラフ中のAの時期に起きた出来事を、下の1～5の中からすべて選び、その番号を、〔解答欄B〕の所定の欄に記入しなさい。



備考：図中の区切り線は、5年ごとの区分を示す。

〔資料出所〕『日本労働運動史料』第10巻より作成。

1. 上野公園で第1回メーデーが開かれた。
2. 堺利彦らが日本社会党を結成した。
3. 大日本労働総同盟友愛会が結成された。
4. 日比谷焼き打ち事件が起きた。
5. 労働組合期成会が結成された。



Ⅲ 沖縄の歴史に関して述べた次の文章を読んで、問10～問15に答えなさい。解答は、設問で指定された場合を除いて、すべて番号で解答用紙の〔解答欄A〕の所定の欄に記入しなさい。

A 琉球王国は、明治維新ののち、日本政府によって B 日本領土に編入されていった。日本編入後、20世紀に入るまでの沖縄では、従来の土地制度や租税制度を維持する旧慣温存策がとられた。また、経済開発が進まず、県民の所得が総じて低かったため、出稼ぎや移民による人口流出が起こった。

C 第二次世界大戦において、沖縄は、上陸したアメリカ軍との激しい戦闘の場となった。そのため、沖縄では民間人を含めて多くの犠牲者が出た。

D 敗戦後、日本本土は、戦後改革を通じて復興への道を歩みはじめ、国際社会へ復帰した。E めざましい経済成長も実現された。その一方で、沖縄は、F アメリカ合衆国の施政権下におかれ、本土復帰まで時間を要することになった。本土復帰した後も、沖縄には依然として広大な米軍基地がおかれたままである。

問10 下線部Aに関連して、次の文章を読んで、以下の(1)、(2)に答えなさい。

1429年に中山王尚巴志によって、三山に分かれていた琉球が統一され、琉球王国が成立した。琉球王国では、王都(ア)の整備が進められ、その外港である(イ)は国際貿易港として繁栄した。琉球王国は、明の冊封体制のもとで朝貢(進貢)貿易をおこなっていた。しかし、1609年に、薩摩の島津家久の軍が琉球王国を征服すると、薩摩藩は、琉球王国の貿易を管理しながら、朝貢貿易を継続させた。こうして、琉球王国は、江戸時代には、薩摩藩の支配を受けながら、明そして清を宗主国とするという $\alpha$  両属関係におかれることとなった。

(1) 文章中の空欄(ア)、(イ)に入る地名を、それぞれ〔解答欄B〕の所定の欄に記入しなさい。

(2) 下線部 $\alpha$ に関連して、琉球王国は中国のみならず江戸幕府に対しても使節を送ることになった。琉球王国が江戸幕府に派遣した使節の名称とその派遣の名目を、〔解答欄B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい。

問11 下線部Bに関連して、次の資料a，bは、詔書・法令の一部である（必要に応じて表現を改めた）。資料a，bが発せられた時期を、下の年表中の空欄1～5の中からそれぞれ選びなさい。（重複使用不可）

a

尚<sup>よ</sup>泰能く勤誠を致す、宜<sup>よろし</sup>く顕爵<sup>あ</sup>を予<sup>あ</sup>ふへし、<sup>し</sup>陛下<sup>し</sup>して琉球藩王と為し（後略）

b

琉球藩を廃し沖縄県を<sup>わかれそうろう</sup>被置候

（資料出所はいずれも省略する。）

1

王政復古の太号令が発せられた。

2

岩倉具視を大使とする使節団が横浜港を出港した。

3

征韓論争で西郷隆盛が下野した。

4

西南戦争が始まった。

5

問12 下線部Cに関連して、ヨーロッパにおける第二次世界大戦は、ドイツのポーランド侵攻によって始まったが、その直前に日本では平沼騏一郎内閣が総辞職した。その理由を、日本とドイツとの関係に触れつつ、〔解答欄B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい。

問13 下線部Dに関連して、以下の（１），（２）に答えなさい。

- （１） 次の資料 a ～ c は、戦後に発表された文学作品からの抜粋である（必要に応じて表現を改めた）。それぞれの文学作品の作者の組み合わせとして適切なものを、下の 1 ～ 6 の中から選びなさい。

a

渦巻くきいろい煙がうすれると / ビルディングは裂け、橋は崩れ  
満員電車はそのまま焦げ / 涯<sup>はて</sup>しない瓦礫<sup>がれき</sup>と燃えさしの堆積<sup>たいせき</sup>であった広島  
やがてポロ切れのような皮膚を垂れた / 両手を胸に  
くずれた脳漿<sup>のうしよう</sup>を踏み / 焼け焦げた布を腰にまとして  
泣きながら群れ歩いた裸体の行列

b

白痴の女が焼け死んだら——土から作られた人形が土にかえるだけではないか、もしこの街に焼夷弾のふりそそぐ夜がきたら……伊沢はそれを考えると、変に落着いて沈み考えている自分の姿と自分の顔、自分の目を意識せずにいられなかった。俺<sup>おれ</sup>は落着いている。そして空襲を待っている。よかろう。彼はせせら笑うのだった。

c

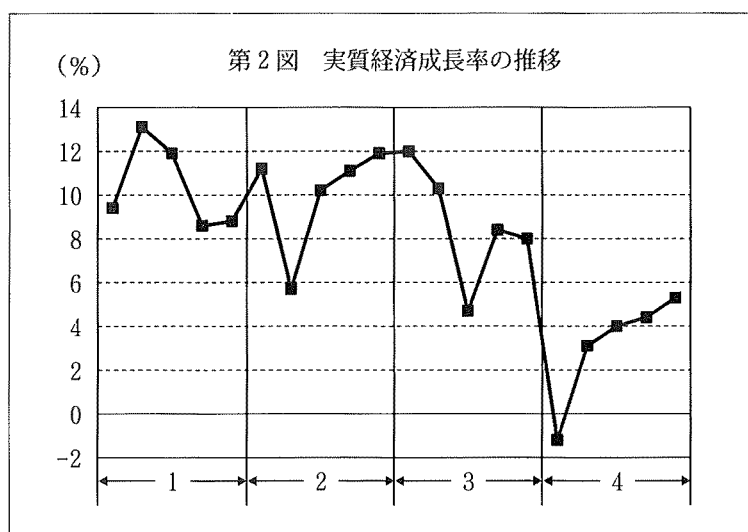
兵器が進歩し、戦闘を決定する要素において人力の占める割合が著しく減少した今日、局所の戦闘力に懸絶を生ぜしめたのは指揮者の責任であり、無益な抵抗を放棄するのは各兵士の権利であるとさえ思っていた。しかし、（中略）同胞がなお生命<sup>いのち</sup>を賭して戦いつつある時、自分のみ安閑として敵中に生<sup>なま</sup>を貪<sup>むさぼ</sup>るのは、いかにも奇怪な、あるまじきことと思われた。

（資料出所はいずれも省略する。）

- |           |        |        |
|-----------|--------|--------|
| 1. a 大岡昇平 | b 坂口安吾 | c 峠三吉  |
| 2. a 大岡昇平 | b 峠三吉  | c 坂口安吾 |
| 3. a 坂口安吾 | b 大岡昇平 | c 峠三吉  |
| 4. a 坂口安吾 | b 峠三吉  | c 大岡昇平 |
| 5. a 峠三吉  | b 大岡昇平 | c 坂口安吾 |
| 6. a 峠三吉  | b 坂口安吾 | c 大岡昇平 |

(2) 日本はサンフランシスコ平和条約において、国際連合に加盟する意思を表明したが、日本の国連加盟はその後にもちこされた。日本の国連加盟が国連総会で認められた背景にある、サンフランシスコ平和条約以後の日本の外交関係の変化について、その変化を実現させた当時の首相の姓名に触れつつ、〔解答欄B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい。

問14 下線部Eに関連して、次の図は、第二次世界大戦後の、ある20年間における日本の実質経済成長率の推移をグラフ化したものである。図の横軸の1～4は、5年ごとの区分である。次のa～dの出来事が起きた時期を、図の1～4の中からそれぞれ選びなさい。ただし、1の時期より前の場合は0を、4の時期より後ろの場合は5を記入しなさい。（重複使用不可）

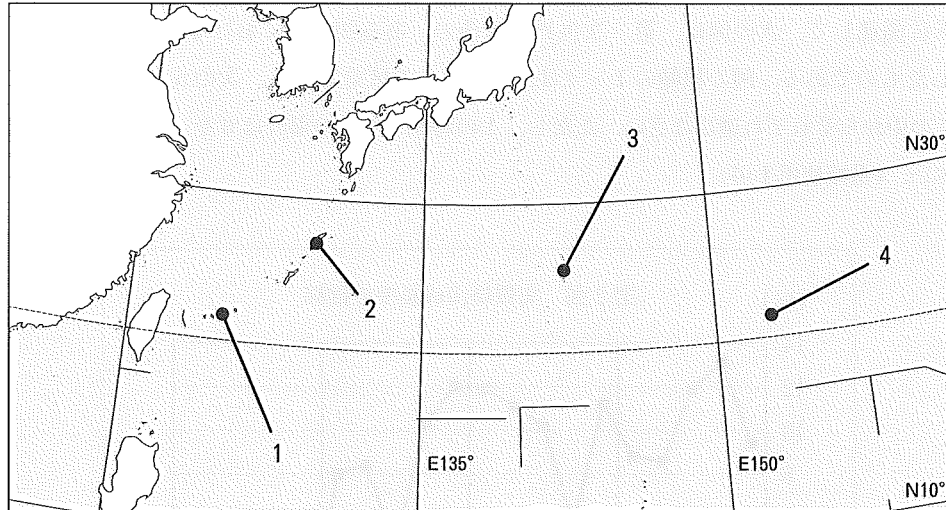


〔資料出所〕『近現代日本経済史要覧 補訂版』より作成。

- a. 教育委員が、公選制から地方自治体首長による任命制となった。
- b. 公害対策基本法が制定された。
- c. 男女雇用機会均等法が制定された。
- d. 農業基本法が制定された。

問15 下線部Fに関連して、以下の(1)、(2)に答えなさい。

- (1) 吉田茂内閣時に、アメリカ合衆国から日本に施政権が返還された場所として最も適切なものを、次の地図中の1～4の地点の中から選びなさい。



備考：国境は現在のもの。

- (2) 次のa～cの出来事はそれぞれ下の年表のどこに入るか、年表中の空欄1～6の中からそれぞれ選びなさい。  
(重複使用不可)

- a. アメリカ合衆国と日本との間にMSA協定が締結された。
- b. 沖縄返還協定に基づいて日本に沖縄の施政権が返還された。
- c. 日米相互協力及び安全保障条約が締結された。

1

広島で第1回原水爆禁止世界大会が開かれた。

2

日本がIMF 8条国へ移行した。

3

日韓基本条約が締結された。

4

ニクソン大統領が金とドルとの兌換停止を発表した。

5

日中平和友好条約が締結された。

6